

2019年度 活 動 報 告

法人の名称 特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

1 概要

よりよい子どもの未来へ向けて子ども達が生きる喜びを感じられる社会づくりを進めるため、「地域創造(創る)」「架け橋(つなぐ)」「醸成(担い合う)」の3つのミッションに取り組んだ。

具体的には、子どもたちの現状を市民に伝え、潜在的なサポーターの掘り起こしを図り、子ども・子育ての課題に取り組む団体への助成や、活動団体とサポーターをつなぐコーディネートなどを行った。

新たな要素として、かながわボランティア活動推進基金 21 による神奈川県との協働事業「子ども支援活動地域サポート推進事業」に取り組んだことや、外部推進組織を立ち上げ事務局機能を担ってきたピンクシャツデー事業を当ファンドの本体事業（会計）に組み入れたことが挙げられる。

前者は貧困など困難な状況にある子どもたちの健やかな育ちを社会全体で支える地域づくりの取組み、後者は地域の多様な主体が一体となっていじめのない社会を目指す取組みである。

年度末には新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止したものや実施方法を見直したものもあったが、年間を通じて以下に示す取組みを行った。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

①個人や企業・団体からの寄付金品等を募るための寄付プログラムの開発と普及

ア NPO等とその活動を支援する企業・団体（サポーター）をつなぐ仕組みをつくる事業

ポータルサイトの開設にむけ準備する事業（基金 21 協働事業負担金事業）

- ・内 容 ポータルサイト「こどものみらい応援ネット」の基本設計
NPOと企業や団体、行政等との連携を促進し、子ども支援活動に関わる地域のネットワークを広げることを目的に、ポータルサイト（こどもの未来応援ネット）の構築に向け基本設計を行った。
(ソフトウェア開発委託契約先(株)アイネット)
- ・日 時 通年
- ・場 所 事務局他
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 3,000,000円

つなぐ・支えるコーディネート機能を充実する事業（基金 21 協働事業負担金事業）

- ・内 容 「つなぐ・支える相談窓口の設置」
子ども未来ファンドのHPに「つなぐ・支える相談窓口」を設置し、子ども支援活動とサポーターをつなぐコーディネート機能の充実を図った。支援企業・団体・行政との共催事業に柔軟に対応するなど関係づくりに努め、5月の設置以降、企業等から月1～2件程度の相談が寄せられた。
〈主なマッチング事例〉
 - ・横浜高速鉄道(株)提供の災害備蓄食料をこども食堂や高校内カフェ等

の居場所で活用。

・(一社) 横浜銀行協会提供の災害備蓄食料を子どもの居場所に提供。
ワールドカフェ (子どものみらい応援ネットワーキング) の開催
茅ヶ崎市市民活動センターの指定管理者である認定 NPO 法人 NPO サポートちがさきへ委託し 2 月 28 日に実施予定だったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

- ・日 時 随時 窓口開設 (5 月) ワールドカフェ (中止)
- ・場 所 事務局
- ・従事者人員 3 人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 1,800,000 円

イ 様々な寄付プログラムを実施し普及を図る事業

会員及び寄付の募集

- ・内 容 会員の状況

	2019 年度実績	前年度実績
正会員	84 名 (47 口)	86 名 (47 口)
準会員	22 名 (24 口)	49 名 (54 口)
子ども応援会員	13 名 (18 口)	19 名 (29 口)
法人会員	11 社 (13 口)	8 社 (12 口)

(年度末現在)

寄付の状況

	2019 年度実績	前年度実績
一般寄付金※	7,965,180 円	3,659,504 円
運営基盤を支える寄付金	357,330 円	829,950 円

※2019 年度はピンクシャツデー協賛金を含む

- ・日 時 通年
- ・従事者人員 15 人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支 出 額 1,553,589 円

ヨコハマ・アコースティックフェスティバル vol.10 への参加

- ・内 容 イベントブースでの募金活動及び普及啓発活動

約 4,000 名が参加するヨコハマ・アコースティックフェスティバルの会場 (山下公園) で子どもの居場所事業等を実施している活動団体のパネル展示を行った。音楽イベント等の場で実施する普及活動には、新たな広がりがあるとの手ごたえを得た。また、会場で横浜市立東高校サステイナブル研究部の協力のもとチラシ 1,000 枚を配布。次年度以降のイベントの開催準備に向け一歩進めることができた。

- ・日 時 9 月 8 日
- ・従事者人員 10 人

- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支出額 300,000円

商店街でのチャリティーバザーの実施

- ・内 容 商店街の寄贈品によるチャリティーバザー
モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合の協力により、商店街の秋のイベントであるフライマルクトでチャリティーバザーを実施した。
- ・日 時 10月6日
- ・場 所 川崎市元住吉 モトスミ・ブレーメン通り商店街
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支出額 150,000円

各種団体主催イベントでの募金活動

- ・内 容 連合神奈川主催のメーデーに出展
飲料のチャリティー販売と募金活動を行った。
- ・日 時 4月28日
- ・場 所 臨港パーク
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支出額 120,000円

福祉団体主催イベントでの募金活動

- ・内 容 福祉作業所主催のバザーに出展
飲料のチャリティー販売と募金活動を行った。
- ・日 時 11月23日
- ・場 所 保土ヶ谷区 地域作業所ダンボ
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支出額 120,000円

②個人や企業・団体からの寄付金品等及び財団からの助成金をもとにした、子ども・若者・子育てに関わる人を支える民間非営利組織の運営費または事業費に関わる助成または子ども・若者・子育てに関わる人を支える民間非営利組織の事業費に関わる助成

ア 助成事業

2019年度助成事業

- ・内 容 2019年度助成の実施
「一般助成」「課題助成／いじめ・貧困・児童虐待防止」の2分野で、2018年度に助成対象団体を募集するとともに助成選考委員会を開催。その結果を踏まえて7団体へ総額102万円の助成を行った。
- 2019年度助成選考委員
委員長 北川 剛司氏 北川商事株式会社代表取締役社長
委員 高取しづか氏 NPO 法 JAM ネットワーク代表
委員 西川 正 氏 NPO 法人ハンズオン埼玉常務理事

- 委員 山口 明 氏 神奈川県労働委員
委員 藤沖 彩 氏 神奈川県弁護士会子どもの権利委員会委員
- ・実施時期 4月
 - ・従事者人員 10人（事務局2名 理事3名 選考委員5名）
 - ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び企業・団体等
 - ・支出額 1,050,000円（助成額1,020,000円）

2019年度助成対象団体

団体名	区分	事業内容 < >内活動領域	都市名	助成金額
生き×活き コミュニティ	一般	<居場所・コミュニティを創る事業> ひきこもりや未就労者等が、フラッと参加できるフリースペース（場）を提供する	横浜	100,000円
おっち一塾	一般	<地域で困っている子どもを支える事業> 地域ボランティアによる不登校児童・生徒への学習支援とコミュニケーション支援	横浜	200,000円
NPO法人 子どもと共に歩む フリースペース たんぽぽ	一般	<小冊子「何よりも命が大切！子どもたちからあなたへ」（仮題）の作成事業> 子育て家族と地域の交流を支援	横浜	200,000円
NPO法人 ひだまりの森	一般	<親子の孤立を防ぐステップアップ事業> 多様化するニーズに対応する新たな相談体制を作る（有料相談の実施・広報）	横浜	170,000円
東戸塚 【キララの教室】	一般	<外国につながる児童への学習支援> 指導法の改善、受け入れ人数拡充を検討。10周年記念イベント、記念誌の作成・配布	横浜	120,000円
NPO法人 なまむぎこども食 堂	課題	<こども食堂> 「楽しい会話が何よりのごちそう」をスローガンに運営。新たに学習支援事業を開始予定	横浜	130,000円
みんなの場「てと てと」	課題	<困難を抱える家庭のための居場所事業> 簡単な食事の提供や各種講座とソーシャルワークによる支援を取り入れた居場所事業	相模原	100,000円

2020年度助成事業

- ・内 容 2020年度助成対象団体の募集

「一般助成」に加え「課題助成①いじめ・児童虐待防止」「課題助成②貧困」の3分野について助成対象団体を募集した。

2020年度助成概要

募集総額：1,500,000円（前回は+500,000円）1団体につき上限25万円

募集期間：11月1日～1月25日

応募総額：4,143,000円（前回は+1,519,400円）

応募団体：18団体（前回は+5団体）

2020年度助成選考委員

委員長 北川 剛司氏 北川商事株式会社代表取締役社長

委員 奥山千鶴子氏 NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事長

委員 飛弾野 理氏 神奈川県弁護士会所属弁護士

- 委員 西川 正 氏 NPO 法人ハンズオン埼玉常務理事
委員 山口 明 氏 神奈川県労働委員
- ・従事者人員 10人（事務局2名 理事3名 選考委員5名）
 - ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び企業・団体等
 - ・支出額 100,000円

イ 助成贈呈式及び助成報告会

- 2019年度助成贈呈式・2018年度助成報告会の実施
- ・内 容 2019年度助成対象団体への助成贈呈と2018年度助成対象団体の活動報告及び、寄付をした企業・団体・個人の方との交流
 - ・日 時 6月23日 14:00
 - ・場 所 横浜中央YMCA9階
 - ・従事者人員 20人
 - ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び企業・団体等
 - ・支出額 50,000円

③前号の助成の対象となる団体等（以下、「助成対象団体等」という）に対する技術的支援

助成対象団体等への技術的支援の実施

- ・内 容 助成対象団体等への事業運営等の助言、支援及び専門家の紹介等
- ・日 時 随時
- ・場 所 助成対象団体等または事務局
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人、及び、助成を受けた子ども・若者・子育てに関わる民間非営利組織の運営に関わる人
- ・支出額 10,000円

④ 子ども・若者と子育てに関する分野の調査研究と政策提言

子ども・若者と子育てに関する調査等

- ・内 容 子ども・若者と子育てに関する実態の把握
- ・日 時 随時
- ・場 所 助成対象団体等または事務局
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人、及び、助成を受けた子ども・若者・子育てに関わる民間非営利組織の運営に関わる人
- ・支出額 10,000円

⑤ 子ども・若者と子育てを支えるための普及啓発

「ピンクシャツデー2020 in 神奈川」の取組み

- ・内 容 カナダでスタートした多様性を認め合い、いじめストップを願うアクションを県内各地で実施した。ピンクシャツデー推進委員会を組織し、県や市と企業や団体、NPO、商業施設等が一体となり、子どもを見守る輪づくりの大切な機会とした。

具体的には、2月をピンクシャツデー月間とし、商業施設でキャンペーンイベントを4回実施した。活動の様子は行政、企業、団体、NPOが協働した神奈川モデルとしてNHKやtvkのニュース報道でも複数回取り上げられ、全国に発信された。また、多くの新聞等で報道された。

- ・日時 2月（ピンクシャツデー月間）
キャンペーンイベント 2月9日、2月16日、2月24日、2月26日
- ・場所 横浜ワールドポーターズ、ランドマークプラザ、横浜駅西口駅前広場（横浜タカシマヤ正面入口前）、新都市プラザ（そごう横浜店地下2階正面入口前・イベントを中止し展示のみ実施）
- ・従事者人員 20人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支出額 3,966,979円

子どもみらいセミナーの実施事業（基金21協働事業負担金事業）

- ・内容 子どもみらいセミナーの実施（3回）
「子どもたちのSOSを受け止めよう」ナビゲーター／西野博之理事
- 第1回「いじめストップ！」
日時 8月18日／14:00-17:00 会場 横浜中央YMCA 9階講堂
講師 小森美登里氏（NPO法人ジェントルハート理事）
齋藤 有子氏（株式会社マモル代表取締役社長）
定員 約80人 実績 参加数 29人 ボランティアスタッフ12名
- 第2回「虐待の連鎖を止めよう」
日時 9月29日／14:00-17:00 会場 ワークピア横浜
講師 川松 亮氏（明星大学人文学部福祉実践学科常勤教授）
飛田 桂氏（弁護士/神奈川子どもみらいファンド理事）
定員 150人 参加数 51人 ボランティアスタッフ14名
- 第3回「子どもの貧困」
日時 11月17日／14:00-17:00 会場 ワークピア横浜
講師 阿部 彩氏（首都大学東京人文社会学部人間社会学科
社会福祉学教室教授）
高橋亜美氏（社会福祉法人子供の家ゆずりは所長）
定員 150人 参加数 64名 ボランティアスタッフ9名
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支出額 1,601,691円

子どものみらい応援団セミナーの実施事業（基金21協働事業負担金事業）

- ・内容 子どものみらい応援団セミナーの実施（2回）
神奈川県「子どものみらい応援団」の構成団体等へ出向き、子どもの現状を伝えるセミナーを実施した。
- 第1回 公益社団法人横浜貿易協会
日時 9月18日 参加人数 40名
内容 理事・評議員合同幹部セミナーにて実施
講師 神奈川県福祉子どもみらい局子ども支援課長 剣持 道子氏
東京ボランティア・市民活動センター所長 山崎美貴子氏
主任 河村 暁子氏
- 第2回 横浜港南ロータリークラブ

- 日時 2月5日 参加人数 36名
内容 横浜港南ロータリークラブ例会 卓話として実施
講師 神奈川県子ども未来ファンド副理事長 吉富多美氏
- ・従事者人員 5人
 - ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
 - ・支出額 500,000円

「バリアフリーフェスタかながわ」への参加

- ・内容 神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議主催「バリアフリーフェスタ」に出展し、神奈川の子どもたちを支える活動を紹介するブースを展開した。実行委員長に吉富副理事長が就任。
- ・日時 11月14日
- ・場所 横浜新都市プラザ（そごう横浜店9階）
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支出額 100,000円

パンフレット「つなぎ育む子どもの未来」による普及啓発事業

(基金 21 協働事業負担金事業)

- ・内容 企業等へのPR活動に用いるパンフレットを発行した。
- ・日時 3月発行 A4フルカラー8頁 4,000部発行
- ・場所 事務局
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
- ・支出額 800,000円

インターネットを活用した普及啓発事業

- ・内容 Facebook等を活用し普及啓発事業を行った。
- ・日時 随時
- ・場所 事務局他
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支出額 324,350円

広報誌の発行による普及啓発事業

- ・内容 広報誌「ハンズ to ハンズ」を発行し広報宣伝活動を行った。
- ・日時 7月及び2月（年2回発行） 各回3,000部発行
- ・場所 事務局
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
- ・支出額 100,000円

その他、メディア等を活用した広報宣伝事業

- ・内容 新聞・テレビ等のメディアに積極的に働きかけた。
- ・日時 随時

- ・場 所 事務局他
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
- ・支 出 額 132,512円

3 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

- 通常総会 5月開催
- 理事会 年10回開催
- 運営委員会 年12回開催

(2) 監査に関する事項

- 中間監査 年1回
- 本監査 年1回

(3) 事務局体制

- | | | |
|--------------|--------------|-----------|
| 事務局スタッフ | 常勤職員 | 1名 |
| | 非常勤職員 | 2名 |
| 運営委員による事務局応援 | | |
| | 有償ボランティアとして | 2名(週1回程度) |
| | その他ボランティアとして | 5名(随時) |